

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2024年10月17日(木)

NO. 1521号

本号3頁

## 総選挙公示、焦点は「自公で過半数維持」

第50回衆議院選挙が15日、公示された。自民党派閥の裏金問題を受けた改革を各党が大きな争点に位置づけるなか、政治の信頼回復につながられるのかが問われます。物価高への対応をはじめとする経済対策、外交・安全保障政策などをめぐっても論戦が交わされます。期日前投票は16日から始まり、27日に投票、即日開票されます。

9日の衆院解散から投開票までは18日間で、戦後2番目の短期決戦。石破茂首相(自民党総裁)は勝敗ラインを「自公で過半数(233議席)」としており、自公で政権を維持するのか、野党が過半数割れに追い込むのが焦点です。

裏金問題をめぐっては、実態解明が進まず、再発防止に向けた対策も踏み込み不足との指摘が相次いでいます。与野党各党は、衆院選公約の柱に政治改革を掲げています。

石破首相は15日、福島県いわき市での第一声で「政治とカネの問題が二度とないように、深い反省のもとに臨む」と語り、「日本創生のための選挙だ」として支援を呼びかけました。衆院選後、歳出総額13兆円だった昨年を上回る今年度補正予算を編成する方針を表明し、経済対策に注力する考えを強調。「公明党とともに過半数の議席を得たい」と訴えました。

公明党の石井啓一代表は第一声で、「失われた信頼をどの政党が取り戻せるかが問われる選挙だ」と指摘。使途公開の義務がない「政策活動費」の廃止を掲げました。物価高対策として電気・ガス料金、ガソリンなど燃料費への支援を継続するとしました。

一方、野党側は裏金問題で与党への迫及を強めますが、候補者一本化は進まず、政権批判票が分散する可能性もある状態です。

立憲民主党の野田佳彦代表は、裏金問題で自民が非公認とした前職の地盤である東京都八王子市で第一声に立ちました。前職らが説明責任を果たしていないとしたうえで、首相も国会で予算委員会を開かなかつたことに触れ、「裏金隠し解散」だと批判。自民と世界平和統一家庭連合(旧統一教会)との接点も問題視し、「自民党には自浄能力がない」として政権交代を訴えました。

共産党の田村智子委員長は自民政権が進める防衛力強化への反対を唱えました。

衆院選は定数465(小選挙区289、比例区176)を争う。1344人が15日に立候補を届け出た。与党は、自民342人、公明50人の計392人。立憲、共産、国民、れいわ、社民の野党5党は21年の前回衆院選で共闘しましたが、今回は候補者調整が進まず、計567人を擁立しました。前回より134人増えました。

## これは酷い公明党 議席を得るために裏金議員35人を推薦

15日公示の衆院選で、自民党が派閥裏金事件に関係したとして非公認にしたり、比例代表との重複立候補を認めなかったりした候補者のうち、計35人を公明党が推薦しました。当然ですが、他党からは、公明が掲げる政治改革に矛盾するとの批判が出ています。

自民が小選挙区で非公認とした12人のうち、公明は三ツ林裕巳氏(埼玉13区)と西村康稔氏(兵庫9区)の2人を推薦。自民が比例との重複立候補を認めなかった34人のうち、公明は33人を推薦しました。

背景には選挙区事情がうかがえます。公明の石井啓一代表は比例代表から埼玉14区に転出し、初の小選挙区での戦いとなります。同区には区割り変更前まで三ツ林氏の選挙区だった八潮市と三郷市が含まれており、三ツ林氏との連携を期待する狙いがあるとみられます。これはあまりにも露骨で、信じられません。

一方、公明は兵庫県内で2区と8区に候補を擁立。今回は日本維新の会の候補との激戦が予想され、西村氏との関係を重視して推薦した可能性があります。

立憲民主党の野田佳彦代表は13日のNHK番組で「(公明は)本気の政治改革というが、非公認の人まで推薦をする。これは明らかに(自民と)共犯だ」と批判しました。公明の石井代表は15日、記者団に「地元の党員、支持者が納得しているということを最大限尊重した」と述べ、地元の判断との考えを強調しました。

## 10月12日、宮城で立民・共産の共闘態勢が成立

市民連合みやぎ提案の共通政策を両党が受け入れ、県内5つの小選挙区で、立民が1区～4区に、共産が5区にそれぞれ候補者を立てます。

共通政策1項には「憲法9条の改悪や専守防衛を逸脱する集団的自衛権行使を認めた安保法制や敵基地攻撃能力保有を明記した安保3文書の廃棄を目指し」が盛り込まれています。

比例はそれぞれの党が議席確保をめざして取り組むこととなります。

総選挙で勝利し、市民と立憲野党共闘の力を示さねばなりません。

### ◆読売オンラインより

#### 立民と共産、宮城県の全5小選挙区で選挙協力へ…市民団体が仲介・「安保」で歩み寄り

衆院選を控え、立憲民主党宮城県連と共産党宮城県委員会は12日、公認候補予定者が競合しない県

### 共通政策

#### 市民の生活を守り、将来世代に繋げる政治への転換を

ウクライナ、パレスチナ・ガザと目を覆うばかりの惨事が続き、平和への道筋がみえず、平和・人道の危機が続いています。また日本においても自公政権は、憲法を空洞化させながら、戦争への道を突き進むと同時に新自由主義政策のもと貧困と格差を拡大させ続けています。また金権腐敗・裏金、「統一教会との癒着」の隠ぺいなど自公政権に対する市民の怒りは拡大しています。

そうしたなか、市民連合は立憲主義の回復と安保法制の廃止を求めて、立憲野党と連携しながら、5回の国政選挙を闘ってきました。

市民連合は昨年8月憲法9条と13条を共通の政策ビジョンの中心に掲げるべきだとの考えを立憲野党各党に示しました。また12月7日には、「市民の生活を守り、将来世代に繋げる政治への転換を」を提出してきました。

次期衆議院選挙が間近に迫ってきました。今回の選挙で自公政権の暴走を止め、自公の議席の最小化と協力する野党の議席の最大化を目指し、立憲野党が連携することを強く求めます。

市民連合は、12月7日の要請書を基本に、以下の通り、要請し、ご奮闘されることを要望します。

#### 1 憲法も国民生活も無視する軍拡は許さない

日本国憲法が掲げる平和的生存権の理念に立脚した平和外交と専守防衛の安全保障政策に徹することこそ、危険かつ不毛な防衛費増大・軍拡競争とその行き着く果ての戦争を回避し、真の意味で、国民の生命、自由及び幸福追求権を守ることができる。憲法9条の改悪や専守防衛を逸脱する集団的自衛権行使を認めた安保法制や敵基地攻撃能力保有を明記した安保3文書の廃棄を目指し、辺野古新基地建設等基地の強化ではなく、基地負担を軽減する。非核三原則の遵守など、核兵器廃絶めざして、努力する。

#### 2 物価高、燃料高騰、円安、不公平税制を放置せず、市民の生活を守る経済政策を行う

実質賃金が低迷しつづける中、急激な円安やエネルギー費高騰が多くの人の命と暮らしを脅かす事態になっている。実質賃金引き上げや格差是正、インボイス制度の廃止、逆進性の強い税制の是正と社会保障料負担の適正化、保育や教育のための子ども予算の増額など、市民の生活を保障し将来世代へと繋げる政策へと転換する。当面、現行の健康保険証は維持する。農林水産業の育成を支援し、地域経済の振興を図る。食料自給率の向上をめざす。

#### 3 だれもが個人として尊重されるよう、ジェンダー平等・人権保障を実現する

政治の場、働く場、学ぶ場、家庭における男女平等の実現をめざし、選択的夫婦別姓制度や同性婚制度などを整備し、日本の将来世代にふさわしい、伸びやかで活力のある社会や経済へと転換する。日本に住む誰もが個人として尊重されるよう、あらゆる差別を禁止する。

#### 4 将来世代へと繋げるために、気候変動対策を強化し、エネルギー転換を推進する

市民の生活を脅かす異常気象が頻発する現実を直視し、将来世代や未来の人々、生きものに対する責任を果たすために、国際協調に基づく気候危機と環境保全の対策を加速し、温暖化対策の強化へのリーダーシップを発揮する。原発にも化石燃料にも頼らないエネルギーへの転換を進め、脱炭素社会を早期に実現し、経済や安全保障上のリスクを軽減する。

#### 5 権力の私物化を止め、立憲主義に基づく公正で開かれた政治を行う

「自公一強体制」の下での権力の腐敗・私物化に歯止めをかけ、みんなのための政治を取り戻す。金権腐敗・裏金の実態、統一教会との癒着の実態を明らかにし、厳正に対処する。また同一選挙区からの世襲立候補や親族間の政治資金のやり取りを制限する。解散権の乱用は許されない。財政民主主義の原則をないがしろにする予備費の膨張と流用は認められない。

2024年 10月 12日

市民と野党の共闘で政治を変える市民連合みやぎ

内全5小選挙区で選挙協力することに合意した。両者が市民団体「市民連合みやぎ」の仲介のもとで政策協定を結びました。

両党は安保法制への立場を巡って関係が揺らいでおり、選挙協力が難航している。県内では、市民団体が要請した5項目の政策にそれぞれが合意。安保法制にかかわる文言を「安保3文書の廃棄を目指す」との歩み寄った表現とすることで野党共闘が実現した。

団体が要請した5項目の政策にそれぞれが合意。安保法制にかかわる文言を「安保3文書の廃棄を目指す」との歩み寄った表現とすることで野党共闘が実現しました。

立民連選対本部長の石垣のり子参院議員は「自民党の議席を抑えるため共に戦う」と述べ、共産党県委員会の中島康博委員長も「市民との共闘で（政策の）実現を目指す」と語りました。

## ノーベル平和賞の被団協会見

### 受賞の喜びを語り、核兵器禁止条約への参加を訴える

今年のノーベル平和賞を受賞することになりました日本被団協＝日本原水爆被害者団体協議会の代表らが12日、都内で会見を開き、受賞の喜びと今後に向けた思いを語りました。

日本時間の11日、ことしのノーベル平和賞に日本被団協が選ばれたと発表されたことを受け、12日午後、オンラインを含めて被団協の役員を務める7人が会見を開きました。

4歳のときに長崎で被爆した田中重光代表委員（83）は「私たちの先輩が差別や偏見、健康の問題を抱えながらも国内外で被爆の体験を語ってこられたことが雨水のように浸透していき、核兵器が使われるのではないかとという情勢の中で、被団協に平和賞を与えないと大変なことになるのではないかと考えたのではないかと話しました。

広島で母親の胎内で被爆した濱住治郎事務局次長（78）は「広島の爆心地で父親は亡くなり、母や姉たちが育ててくれた。今回の受賞を姉たちに報告して喜びたい。核兵器の廃絶と被害者の補償の両方を実現しなければ、私たちの役割を果たしたことになると思っている。被団協は全国で会員が減り運営が難しくなっているが、各地で活動する人と交流を続けながら乗り越えていきたい」と述べました。

そして13歳のとき長崎で被爆した田中熙巳代表委員（92）は「原爆による惨状を目の当たりにして戦争をやるべきではない、原爆は使ってはならないと感じたことがモチベーションとなり、活動を続けてきた。結果は残せていると思うが、日本政府はまだ核兵器禁止条約に参加していないなど、期待どおりには発展しておらず、その意味で今回の受賞はすばらしい国際的な呼びかけになる」と述べ、核兵器廃絶に向けた機運が世界で高まることへの期待感を示しました。



## 総選挙 第一声で党首たちは何を語った？

今総選挙は、自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件を受けた「政治とカネ」への対応が最大の争点です。対応の遅れが指摘された物価高などの経済対策、増税前提の防衛費大幅増などの外交安全保障政策も問われます。有権者が「信頼できる政治」を選ぶことができる政権選択の機会は2021年10月の衆院選以来3年ぶりです。

### ◆自民党

石破茂首相（自民党総裁）は福島県いわき市で行った第一声で「パーティー収入の不記載が二度とないよう深い反省のもとに選挙に臨む。日本創生のため、もう一度新しい日本をつくっていく」と語りました。

◆公明党 石井啓一代表は東京都豊島区で「失われた政治への信頼をどの政党が取り戻せるかが問われる選挙」と述べました。

◆立憲民主党 野田佳彦代表は八王子市で「企業・団体献金は廃止し、一人一人と向き合う政治を実現しなければならない。裏金を許さず自民政治に決別しよう」と訴えました。

◆日本維新の会 馬場伸幸代表は新宿区で「消費税2%の減税などで可処分所得を増やして、経済を成長させる」と主張しました。

◆共産党 田村智子委員長は豊島区で「カネまみれの政治を生んでいる政党助成金を廃止する」と強調しました。

◆国民民主党 国民民主党の玉木雄一郎代表は神戸市で「減税、社会保険料の軽減などで国民の手取りを増やす」と述べました。

◆れいわ新選組 榊原万里共同代表が東京都墨田区で「経済音痴から日本を取り戻す」と第一声。

◆社民党 社民党の福島瑞穂党首は沖縄県浦添市で「軍事予算がうなぎ上りで生活を圧迫する政治を変えよう」と呼びかけました。

◆参政党 神谷宗幣代表は大阪市で「争点は日本がどう生き残るかだ」と語りました。